

## 2023 りぼん first 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	88%	12%	0%	今も三密には気を付け色々な取り組み等のスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	88%	12%	0%	国の定める配置数より多くの配置を行っている。
	③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	88%	12%	0%	配慮が適切になされている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	職員全員へ周知を行う場をミーティング、会議で多く設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	12%	0%	良い所、悪いところなどご意見を頂ける箇所に対しては改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	88%	12%	0%	りぼん first のホームページで公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	71%	29%	0%	りぼん first では、第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	86%	0%	14%	各人の意識やスキルアップの為、外部研修にも参加してもらい、ミーティングや会議などでも研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	アセスメントシート、親御さんとモニタリング等でお話を聞き、適切な個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	アセスメントシート等を使用し、適応行動の把握を行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	88%	0%	12%	職員が多数参加して活動している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	色々と考え活動プログラムを作成している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	88%	12%	0%	外でのレクリエーション(遠足等)や室内では、スペースが広くあるので、身体を動かしたりと子どもたちが笑顔で取り組みができる支援を行っている。

⑭	子どもの状況に応じて、個別支援と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	子どもたちの事を一番に考え、アセスメントやモニタリングから個別支援を作成し活動に取り組んでいる。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われている支援の内容や役割分担について確認しているか	88%	12%	0%	必ず業務開始時に打ち合わせを行い、正確に役割分担を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	12%	0%	必ず業務終了時に引き継ぎ、申し送りなどをし、確認を行い周知している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	支援記録や業務日誌を毎日作成して改善につなげている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	定められた回数(年2回以上)モニタリングを実施して支援計画を見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	0%	0%	ガイドラインで推奨されている創作活や好きな遊びを選択して遊べるように工夫している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしき者が参画しているか	88%	12%	0%	サービス担当者会議には、利用児童に最も精通したふさわしい者が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	88%	12%	0%	学校との適時連携や連絡を取り合い、下校時間や行事予定など確認を行い、急な対応にも応じている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	38%	62%	0%	今現在、医療的ケア児童がいない。受け入れの場合は主治医等との連携も取り合って安全に支援する。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	75%	25%	0%	就学前に利用していた保育園、幼稚園、認定子ども園、その他のデイ事業所福祉サービスへの情報提供を共有している。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	88%	12%	0%	当事業所と他の事業所と併用している場合や、障害福祉サービスへの移行時には、情報提供して共有している。	
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75%	0%	25%	受講できる研修には時間が許す限り随時参加している。	

	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	75%	25%	公園などで地域の子どもたちと一緒に活動し交流を持っている。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	50%	25%	25%	協議会への参加は積極的に行っている。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	88%	0%	12%	送迎時や連絡ノート、LINE、メッセージなどで保護者様と連絡を取るようにしている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	63%	25%	12%	子どもたちの関わり方や日常の子育ての悩みや困り事など解消でき、楽しく子育てできるよう支援している。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	88%	12%	0%	運営規定に基づき、丁寧な説明をしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	88%	0%	12%	スタッフも子育て経験豊富が多数来所、電話、LINEでも悩み等の相談を適時助言と支援等を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	38%	50%	12%	保護者会等の開催は、コロナ禍の三密を防ぐ為に行えていなかったが今年からは実施していく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88%	0%	12%	保護者への連携ではスタッフ共に、迅速に行っている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	86%	0%	14%	SNSやホームページ、インスタグラムの発信をしています。今年はりぼんだよりを発行している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	88%	12%	0%	個人情報に十分に注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	88%	12%	0%	配慮をし、さらに必要な保護者様との関係も大切にしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12%	38%	50%	コロナ禍だったので地域住民を招待しての交流ができていない。また、安全にイベント等の交流が図れるように企画立案を行っていくようにする。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に通知しているか	88%	12%	0%	以前のマニュアル等を見直し、再確認し、通知や周知をしている。
	③⑨	非常火災の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	毎月一回、大阪府に定められた年2回消防訓練をし、消防署とも連携しシミュレーションを行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	13%	12%	寝屋川市実施の虐待防止研修への参加、職員間への周知研修も行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	88%	12%	0%	今現在、利用者内には身体拘束を行うほどの利用者はいない。危険を及ぼす等、やむを得ずの場合は例を挙げ、親御様には十分に説明し、了解を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	88%	12%	0%	今現在重度のアレルギーがある子どもはいないが、親御さんからのアセスメントシートや説明を周知している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリハット、事故報告等徹底して共有周知を行っている。